

産業廃棄物処理計画書

令和 3 年 6 月 30 日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 大阪市北区本庄東2-3-12

氏 名 株式会社きんでん 電力支社
執行役員支社長 西川 定延

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6376-6625

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社きんでん 電力支社
事業場の所在地	大阪市北区本庄東2-3-12
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	120億 (令和3年3月末)
③ 従業員数	163名 (令和3年3月31日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック類：選別、圧縮・固化→再利用・焼却・埋立 金属くず：金属処理・委託処理(中間処理・最終処分) 木くず：木くず選別・破砕→再利用(燃料、パルプ、紙原材料) アスファルトガラ：運搬委託→再生処理業者へ処理委託 コンクリートガラ：中間処理→運搬委託→最終処分場へ処理委託 汚泥：中間処理(天日乾燥)→運搬委託→最終処分場へ処理委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・ 工事部責任者 (産業廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認、収集運搬・処理業者の選定)
↓
- ・ 工事部窓口担当 (委託契約書作成、マニフェスト管理)
↓
- ・ 工事現場管理担当 (廃棄物の受付・処理)
↓
- ・ 管理部門 (監督官庁への各所報告、廃棄物管理状況の把握と改善処置、処理業者の選定)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2 年度) 実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラ	混合 (管理型, 安定型)	金属屑	ガラス、陶磁器屑	コンガラ	アスコンその他がれき
	排 出 量	0.002t	118.8 t	51.02 t	9.59 t	1516 t	14 t
	(これまでに実施した取組) 有価物はできるだけ売却し、廃棄物としての排出を抑制するよう努力した						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラ	混合 (管理型, 安定型)	金属屑	ガラス、陶磁器屑	コンガラ	アスコンその他がれき
	排 出 量	0.001t	110 t	47.5 t	9 t	1500 t	12 t
	(今後実施する予定の取組) 上記取り組みを徹底し、不要材の搬入の抑制に努める。						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類別に分別し、業者に搬出する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取り組みを引き続き徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラ	混合（管理型、安定型）	金属屑	ガラス、陶磁器屑	コンガラ	アスコンその他がれき
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラ	混合（管理型、安定型）	金属屑	ガラス、陶磁器屑	コンガラ	アスコンその他がれき
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラ	混合（管理型、安定型）	金属屑	ガラス、陶磁器屑	コンガラ	アスコンその他がれき
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラ	混合（管理型、安定型）	金属屑	ガラス、陶磁器屑	コンガラ	アスコンその他がれき
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(今後実施する予定の取組)							

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラ	混合（管理型、安定型）	金属屑	ガラス、陶磁器屑	コンガラ	アスコンその他がれき
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラ	混合（管理型、安定型）	金属屑	ガラス、陶磁器屑	コンガラ	アスコンその他がれき
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(今後実施する予定の取組)							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラ	混合（管理型、安定型）	金属屑	ガラス、陶磁器屑	コンガラ	アスコンその他がれき
	全処理委託量	0.002t	118.8 t	51.02 t	9.59 t	1516 t	14 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)							
可能な限り再生利用者への処理委託及び種類別に分別して業者に搬出し、最終処分量の低減を図る。							

		【目標】					
		産業廃棄物の種類	廃プラ	混合(管理型、安定型)	金属屑	ガラス、陶磁器屑	コンガラ
②計画	全処理委託量	0.001t	110 t	47.5 t	9 t	1500 t	12 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
		(今後実施する予定の取組)					
		可能な限り再生利用者への処理委託及び種類別に分別して業者に搬出し、最終処分量の低減を図る。					
※事務処理欄							